

組合創立50周年記念事業に向けて準備始まる！

当組合は令和4年11月に、組合の前身である「静岡県鉄骨協会」創立から数えて50周年を迎えることになり、平成30年2月の役員会で協議を行い、令和5年5月の通常総会時にあわせて記念式典を開催することを決定いたしました。

このため、本年6月に、記念式典開催と記念誌発行を検討する2つの実行委員会を設置するとともに委員を委嘱し、7月、9月と2回委員会を開催し、実施に向けて準備を進めております。

記念式典実行委員会では、当日の時間配分や記念事業として講演会を行うかなどを協議し、記念誌発行委員会では、記念誌よりも当組合に無いホームページを作成し、50周年関連資料も含めて様々な情報発信をしていくとし、その作成に向けて協議を進めております。また、記念誌についても、簡略化したリーフレット風のを記念式典当日、配付できるよう検討しております。ホームページについては、記念式典当日をまたず、完成後インターネットに逐次アップし、充実していく予定ですので、ご期待ください。



役員会開催風景

役員会では、これまで紙の資料を配付していましたが、荷物になる、資源の無駄等のご意見がありましたので、現在は風景写真のとおり、スクリーンに資料を映写し説明する方法で開催しておりますのでご紹介いたします。

「溶接ヒューム規制」対応講習会開催のお知らせ

12月2日（水）及び12月8日（火）ともに13:00から、ペガサート6階会議室で行います。詳細は10月11付けメールによりご確認ください。



理事長挨拶

第4回 県との意見交換会を開催しました！

令和2年9月1日、第4回静岡県建築関係職員との意見交換会が県庁会議室において開催されました。コロナウイルス感染防止のため出席者を限定し、県からは交通基盤部参事 長田氏 以下7名、組合からは三役が出席し、次の質疑が行われました。

Q 建築工事現場において時間外の上限規制の適用が5年間猶予されているため、FABが請け負う場合は上限規制に抵触する可能性があるため、「鉄骨工事」の項目を、「資材調達」扱いの項目と、「鉄骨組立工事」の項目とに、分けることは出来ないか。

A 県は建築一式でゼネコンへ発注しているため、分けることは難しいと考えているが、ゼネコンや国に働き掛けていただければ、県にも情報が入り検討することになる。

Q 公共工事の設計見積書の作成には人件費が掛るため、大半の鉄骨業者が依頼を断っている。については、各自治体が対価を支払い、鐵構組合を通して組合員に見積もりを依頼することは出来ないか。

A 鉄骨工事部分にのみ対価を支払うのは現段階では難しいが、今後、他業種の見込みも取り入れ、組合でも対応ができる状態が整えば、検討を考えていきたい。

Q 今後の公共工事の発注について、新型コロナウイルスの影響により、1～3年先の見通しはどうか。

A 新型コロナウイルスの影響で、予定していた工事の中止や延期等少なからずあるが、老朽化が進み安全確保のため、着工しないといけない工事も多く、実施が決まったものについては、速やかに発注していく。

Q 公共工事の建設計画について、住民の反対などによる計画の見直しや中止によって、減少していく傾向はあるか。

A 住民に、事前に十分な説明を行っているため、見直しや中止は減少傾向にある。

今後も意見交換会を続け、
情報共有と相互理解を深めていくこととしました。

交通基盤部参事
長田氏挨拶

